

1. 会議名	令和6年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議
2. 開催日時	令和6年(2024)6月3日(月) 18:00~19:45
3. 開催場所	出雲市役所本庁3階 庁議室
4. 出席者	<p>《委員》</p> <p>【出席】</p> <p>山岡 尚会長、山岡 忍副会長、今岡 久人委員、加本 るい委員、陰山 篤也委員、北脇 正巳委員、児玉 俊雄委員、角 健二委員、須田 のり子、長瀬 理更委員、原 久子委員、兵井 早苗委員、楨原 綾子委員、松浦 研二委員、渡部 志郎委員</p> <p>【欠席】</p> <p>今田 幸男委員、坂根 俊委員、須山 賢也委員、田中 由美子委員、壺倉 浩平委員、三島 慎也委員</p> <p>《事務局》</p> <p>商工振興課長、商工振興課職員(4名)、産業政策課職員(1名)</p>
5. 次第	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和5年度の実績について</p> <p>(2) 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和6年度の目標設定について</p> <p>(3) 出雲市中小企業・小規模企業振興計画の令和6年度の予算・取組について</p> <p>(4) 令和6年度における出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議の取組について</p> <p>3. その他事項</p> <p>4. 閉会</p>

6. 会議内容（概略） ※敬称略

- 事務局 ・ 本日は、ご多用の中をお集まりいただき感謝申しあげる。
・ ただいまから、令和6年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を開会する。
・ 下記のとおり委員の交代があった。

【退任】

- ・ 出雲市議会 保科孝充 委員
- ・ 島根県中小企業課 安部宏 委員
- ・ NPO法人ミライビジネスいずも 長島憲人 委員

【新任】

- ・ 出雲市議会 今岡久人 委員
- ・ 島根県中小企業課 今田幸男 委員
- ・ NPO法人ミライビジネスいずも 北脇正巳 委員
- ・ 有限会社ワタエー 渡部志郎 委員

以上の皆様に新たに会議の委員を委嘱している。

≪議題1：第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和5年度の実績について及び
議題2：第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画に係る令和6年度の目標設定について≫
(18:10～18:50)

委員 議題1、議題2を合わせて事務局に説明をお願いする。

事務局 [資料1、資料2、資料3に基づいて説明]

委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。

委員 資料1の観光消費額、観光入込客数について、令和5年度実績値と令和6年度目標値を比べると、観光消費額は下がり、観光入込客数が上がっているがこれはなぜか。

事務局 第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画の一部の目標値は、市の上位計画である総合振興計画や総合戦略と整合性を図る数値を設定している。観光消費額、観光入込客数の令和6年度目標値についても上位計画策定時に設定したものを現時点では記載している。

委員 それでは、計画に記載する令和9年度までの目標値は、現在の実績値にかかわらず今後も修正することなく継続するという考え方でよいか。

事務局 詳細は議題4で説明するが、今年度のところで第2期出雲市中小企業・小規模企業振興計画の見直しを検討している。修正の内容としては推進施策を現状に即したものに変更することに合わせて目標数値についても必要に応じて修正することを考えている。

委員 コロナ禍の前後で状況が変わっていることが多いため、適宜見直しが必要であると考えます。

委員 目標項目「就職希望の市内高校新卒者の市内就職率」について、求人倍率はどの程度か。就職希望者は多いが、求人が少ないといった状況か。

事務局 倍率の数値は手元にないが、企業の人手不足もあり求人は非常に多く、求人活動が活発である。ただしコロナ禍が明け、市外、県外の企業も同様に求人が活発であるため、高校生が市外に出て就職するという現状がある。

委員 高校生の進路について、大学進学が多くなっている現状があると思うが、現在の目標値の(70%)は達成ができるのか。

事務局 目標としている就職率は、就職希望者を母数とした割合としている。市内の就職希望者数が現在280名程度。その7割を市内に残すということを今後も目指していく。

委員 県外進学後にUターンで戻ってくる学生の受け皿についても用意してもらいたい。
委員 資料1について、「集計中」となっている項目は他団体から数値を提供してもらおうものか。
事務局 仰るとおりである。今回の会議で集計が終わっていないものについては第2回会議にて資料としてお示しする予定である。

《議題3：出雲市中小企業・小規模企業振興計画の令和6年度の予算・取組について》

(18:50～19:30)

事務局 [資料4、資料5に基づいて説明]
委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。
委員 商店街等の振興について、広島尾道市に行った際にシャッター通りとなっている商店街をそのまま活用している事例を見た。そういった他市事例などを参考に視点を変えた取り組みも検討してほしい。
委員 事業者の人手不足について、大手企業に流れていく現状がある。早期の対応を検討するべきではないか。
事務局 業種によって必要としている人材が異なっている。市内企業を知ってもらう機会を増やすなどして企業の採用力UPにつながるような取り組みをしていく。
委員 十分な調査の上、早急な対応をお願いします。
委員 地域通貨の取組における行政ポイントについて、自分がよく参加している海岸清掃に学生も多く参加している。ボランティア参加の証明があるとよいとの声も聞くので、行政ポイントの付与を通じてボランティアへの参加などをより促進できるのではないかと。地域通貨導入が地域愛を育むための基礎となると良いのではないかと。と思う。
事務局 地域通貨にかかる詳細は行政ポイントも含め、今後詳細に検討していく。
委員 地域通貨の資料における「三方良し」の「三方」は市民、事業者、地域であるのか。
事務局 現時点ではそれを想定している。それらのメリットをより高めていけるような仕組みを検討する。
委員 高度IT人材の誘致にかかる予算について、令和5年度と比べて令和6年度の当初予算が約7倍となっているがこれは事業の拡大によるものか。
事務局 令和5年度当初予算の1,000千円は市の出資金としての予算。資料4は各年度の当初予算を比較しているが、令和5年度では補正予算で令和6年度より若干多い予算をつけている。予算の内容は令和5年度、6年度ともに海外人材誘致等に係る委託料で、令和5年度は初期費用等必要な経費が多かったため令和6年度より多い金額を委託料として支払っている。
委員 地域通貨について利用手数料は誰が得るようになるのか。
事務局 具体的なシステムについては検討中であるため、手数料を誰が得るかについても未定である。
委員 他市で実施しているJ-coinを用いた取組では、みずほ銀行が手数料を取っているのか。
事務局 おそらくそのとおりであると思われる。出雲市においては実施事業者や扱う媒体についても検討中であるので詳細については今後決定したところで第2回会議などで改めてご説明する。

《議題4：令和6年度における出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議の取組について》

(19:30～19:40)

委員 ただいまの説明を受けて、何か質問等があるか。
委員 質問等なし

委員	以上で本日予定されていた議題等の審議は終了となる。進行を事務局にお返しする。
事務局	次第の3. その他に記載した振興会議の開催時間変更について、従来の18:00開始から日中開催に変更することを検討している。 本日欠席の委員の方もおられるため、後日アンケートなどで調査を行う。オンラインでの参加についても今後検討する。 次回会議は、10月中に開催予定、具体的な日程等決まり次第、改めて案内を発出する。 以上をもって、令和6年度 第1回出雲市地場中小企業・小規模企業振興会議を閉会する。